

地域包括ケア病棟の新設

例年よりも寒かった冬もようやく終わり、温かい日差しに恵まれるようになりました。新型コロナウイルス感染症はピークを越えはしたものの、減少傾向は緩やかでまだまだ予断を許さない昨今ですが、新しい職員も迎え新たな気持ちで新年度を迎えます。

昨年度はコロナ対策のため、面会禁止や各種感染対策などを徹底して行い、幸いなことに当院と保健福祉総合施設ではクラスターを発生することなく第6波を乗り越えることができそうです。患者さま・入所者の皆さまとご家族にはご不便をおかけして大変申し訳なく思っております。また職員にも不自由を耐え、感染対策に協力いただき感謝の念に堪えません。

コロナ禍により、当院も保健福祉総合施設も収益には少なからぬダメージを受けました。その中で病院の収支バランスを見直し収益を改善するために様々な工夫をしてきました。入院患者数の増加を期待するだけでは、増収には結びつかないことも再確認されました。

第5波より当院でもコロナ対応として一般病床を削減して運営しておりますが、少ない病床でも、入院期間を短縮し入院単価を上げる工夫をすることで、一般病棟では昨年度以上の収益を上げることができました。このことより、DPCでの入院期間Ⅲになる長期入院患者を減らすことで入院単価を増やすことができることも実証できました。地域包括ケアシステムの推進を謳っております当院は退院までの最後の療養施設ですので、急性期病院のように簡単に在院日数を減らすことはできません。そこで、これまで導入できていなかった地域包括ケア病棟の導入の検討も行いました。コロナ対応で臨時配置した看護師に加え、回復期病棟から地域包括ケア病棟へのリハビリスタッフと看護師の再配置を行い地域包括ケア病棟を導入することで医師をはじめ病院スタッフのコンセンサスを得ました。設置基準の3カ月の実績をつみあげて、今年度4月から本格的に稼働いたします。

このことにより、どうしてもすぐには帰ることができない特に高齢の患者さまの在宅復帰をさらに手厚く看護でき、収益も増やすことができるものと期待しております。

そのほかにも、緩和ケア診療加算の申請要件が整いましたので、緩和ケア病棟の増収も図ることができます。さらに薬剤師の病棟配置の基準を満たしましたので病棟薬剤業務実施加算も行います。

また、退院患者の初回外来受診の栄養指導を行う仕組みも作り、外来栄養食事指導料を算定することもできるようになりました。以上のように全職種を上げて増収に向けての取り組みを行っております。

いずれの取り組みも、第一の目的は患者サービスの向上です。これからも、患者さまに満足のいただけるよりよい病院づくりと、持続可能な病院経営を目指してまいります。皆さまのご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



院長
松本 英男

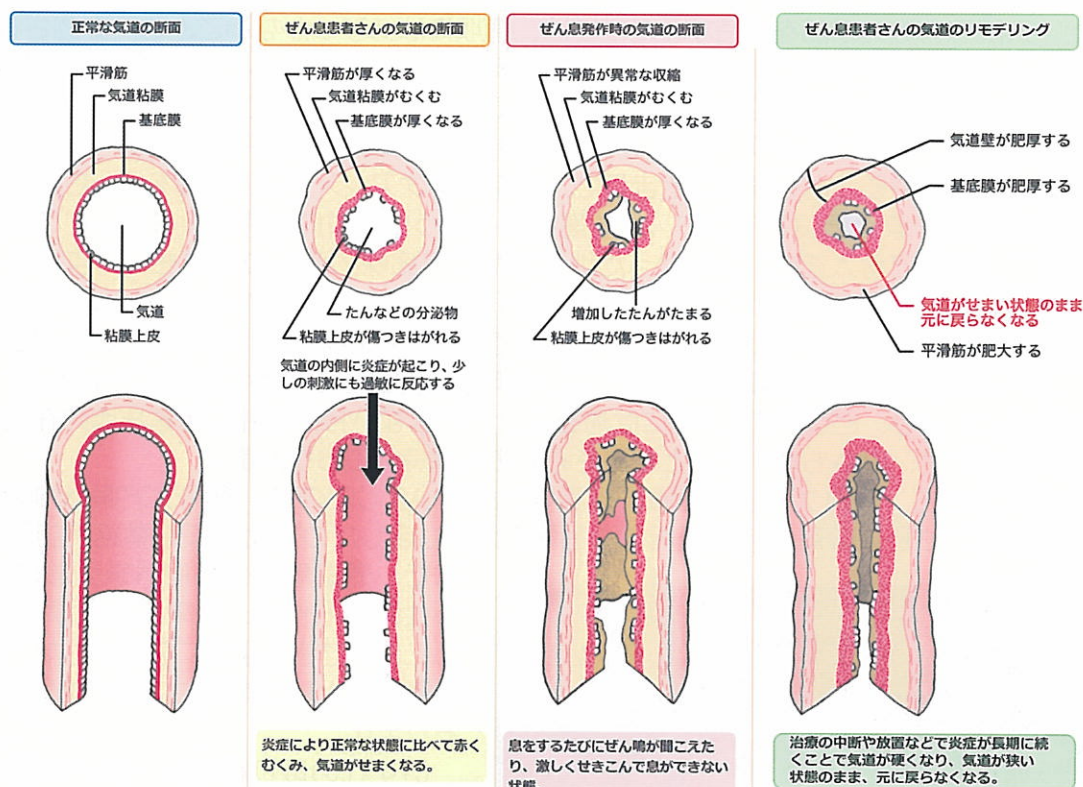


令和4年度 新採用職員

頑固な咳で困っていませんか？咳は肺や気管などの呼吸器を守るために、外から入ってきたほこり、煙、風邪のウイルスなどの異物を気道から取り除こうとする体の防御反応であり、感染症・喫煙・肺気腫など様々な原因が考えられます。喘息も慢性的な咳の原因のひとつであり、成人の喘息は中高年で発症することが多いですが、高齢になってから喘息を発症することもあります。

喘息死という言葉があるように、喘息も日頃からの管理が悪ければ命に関わる病気です。吸入ステロイド治療などの治療薬の進歩により、喘息のコントロールは大幅に改善しています。事実、喘息死の数は1980年に6,370人だったのに対し、2016年には1,454人にまで減少していますが、喘息が原因で亡くなる方もまだ多くおられます。喘息で死亡している人の年齢をみると、90%が65歳以上の高齢者であり、注意が必要です。

喘息の病態は簡単に表現すると気道にアレルギーの炎症が持続している状態に



ぜん息患者さんの気道の状態
(独立行政法人環境再生保全機構のHPから引用)

No.52

高齢者喘息



内科医長
中尾 聡志

よるものです。皮膚でもやけどするとかさぶたができるように、喘息の炎症も放っておくと気道のリモデリングといって気道がかさぶたのように固くなり、治療しても治りにくくなったり、重症化を招いたりする要因になります。そのため、特に中等症以上の喘息をお持ちの方は毎日定期的に吸入ステロイド薬を使用して気道を炎症のない状態に保つことが重要になります。ステロイドと聞くと副作用を気にされる方も多いですが、吸入ステロイド薬は、気道だけに作用する薬であるため、通常の投与量では全身の副作用はほとんどなく、高齢者の方でも長期に安心して使用できます。

高齢者の喘息の特徴としては、COPDや心臓病など、他の病気を合併していることが多くあります。特に同じ呼吸器の病気であるCOPDを合併すると喘息が重症化しやすくなり、呼吸機能が著しく低下してしまうため、注意が必要であり、禁煙は重要です。喘息を悪化させるインフルエンザや肺炎の予防接種を受けることも大切です。

また、吸入薬を使用する上で最も大切なことは、正しい吸入方法をマスターすることですが、高齢になると視力や握力の低下がみられ、指先を使う細かい作業が困難になりがちで、吸入する力も若い方に比べると低下してしまいます。そのために、自分では正しく吸入しているつもりでも薬が十分に気道の奥まで入っていない、ということが起こるため、繰り返し吸入指導を受けることも大切になります。

最近ではアレルギーの原因となるIgEや好酸球という成分に作用する抗体製剤も多数出ており、吸入ステロイド薬を使用してもコントロールが不良な喘息患者さんにも使用できるため、喘息に対する治療の選択肢が広がってきています。

適切な診断や治療がなされず、咳を放置して状態が悪くなってから病院を受診され、喘息だと気づかれる患者さんもおられます。頑固で慢性的な咳で困っていれば、一度呼吸器外来にご相談ください。



喘息の治療に使用する吸入器

みつぎの苑
ユニットひかり

元気にお正月

今年もまた、コロナ禍でのお正月を迎えることになりました。

皆さま、風邪をひくこともなくお元気に過ごされています。面会や外出制限も続いており、寂しい思いやストレスを感じることもあると思いますが、そんな中でもお互いを思いやり、助け合い、そして笑い合って過ごされています。

お正月も外出はできませんが、手作りの「ひかり」神社にお参りました。

久しぶりに行う“かるたあそび”は、「懐かしいね～」と笑顔で始めましたが、いつの間にか、「負けないぞ!」とばかりに椅子から立ち上がり熱くなられる姿が印象的でした。

冷たい風や雪に触れて一緒にブルブル震えたり、職員が持参した正月花を生けたり愛でながら季節を感じている今日この頃です。

感染が落ち着くことを願いながら、今の生活を少しでも穏やかに楽しく過ごすことができるよう、今後も多職種で協力しながら取り組んでいきたいと思っています。



デイサービス
センター

デイサービスのひとコマ～作業療法～

デイサービスセンターでは、利用者さまがご自宅で自立した穏やかな生活を継続していただけるよう、健康チェックから体操・レクリエーション、入浴などの支援を行っています。

その中の一つが作業療法です。内容は様々で「編み物」ではマフラーや帽子、「革細工」では財布やバッグ、他にも「木目込み」・「塗り絵」・「ちぎり絵」等があり、利用者さまが好みに応じて作品を選ばれています。作業中には「前に作った財布を使っとるんよ」「孫にあげるんよ」などの声も聞かれ、それぞれの情景を思い浮かべながら、熱心に取り組まれています。

難しい部分は職員がお手伝いしながら、一緒に楽しい時間を過ごしています。一つの作品が完成する度に、達成感から皆さまとても良い表情をされます。作品は、ホールや廊下にしばらく展示させていただいて、ご自宅に持ち帰られています。

また、毎年秋にみつぎ子ども図書館に作品を展示させていただいています。機会がありましたらご覧になっていただければと思います。

コロナ禍で行動に制限がある日々が続いていますが、利用者さまの安心・安全を第一に考え、社会からの孤立感を抱えないように、日々の活動を充実させ、利用者さまに「デイサービスに行くのが一番楽しい」と感じていただけるよう、職員一同今後も取り組んでいきたいと考えています。



ケアハウス

上下かかしまつり

令和3年10月末に「上下かかしまつり」に参加しました。

構想から、準備、制作、完成に至るまで、先人達のお知恵を拝借して、一ヶ月間「あーでもない」「こーでもない」と、ひと苦勞もありましたが、無事に府中市上下町にある四季の里で展示することが出来ました。テーマは「長生きしてね」。入居者の皆さまのおかげで、努力賞をいただきました。出来上がると、達成感もあり、やる気も出ます。

八十、九十にもなると、言うまでもなく、気力、体力は衰えてきますが、一番大事なことは「何かしたい」という前向きな気持ちだと思います。共に、「何かしたい」をモットーに、これからも皆さまの思いを汲み取っていく努力をしていきたいです。



撮影のため、一時的にマスクをはずしています。



さわやか健康教室のご案内

演題：「おいしく食べてフレイル予防」

講師：管理栄養士 宮迫 梨紗

開催場所：公立みつぎ総合病院 5階講義室

開催時間：5月11日(水) 14:00~15:00



※新型コロナウイルス感染症予防等、諸事情により変更になる場合があります。

受診控えはキケン! コロナ禍こそ 「がん検診」は必要です!

医療機関やけんしん会場では、換気や消毒を行うなど、しっかり感染防止対策を実施していますので安心して受診しましょう。

けんしん受診は、不要不急の外出ではありません



生涯のうち2人に1人は、「がん」になる可能性があると言われています。コロナ禍のがん検診の受診控えで、がんの早期発見が遅れ、その後の治療や生活に影響が出ることもあります。

尾道市民のみなさまへ 集団健診のご案内

	場 所	健診日	申込締切
御調地区集団健診	みつぎいこい会館	7月28日(木)	6月20日(月)
		7月29日(金)	
	公立みつぎ総合病院	8月 (火・水・木)	
		8月7日(日)	
		9月 (火・水・木)	8月1日(月)
		10月	9月1日(木)
レディース検診 (乳がん・子宮頸がん検診)	御調保健福祉センター	12月14日(水)	11月2日(水)

詳しくは、広報おのみち4月号折り込みちらし「健康診査お知らせ」
または、尾道市ホームページをご覧ください。

がん検診は受けたら「終わり」ではありません



「要精密検査」の結果が出たら必ずさらに詳しい検査を受け、
早期発見の機会を逃さないようにしましょう。

●問い合わせ先 御調保健福祉センター TEL 0848-76-2235

みつぎいきいきセンター



**運動不足解消、
生活習慣病の予防、
筋力アップに!**

筋力トレーニングマシンと有酸素運動マシンを使用して、効果的なトレーニングができます。健康維持・増進に利用してください。



① 利用できる方

18歳以上の方(高校生は除きます)

② 一般の利用時間

火曜日～金曜日	午後3時から午後8時30分まで	入館は午後8時まで
土曜日・日曜日	午後1時から午後8時30分まで	
休館日	月曜日、年末年始(12月28日～1月4日)	

③ 利用料(当日受付でお支払いください)

	1日	年間券
尾道市内に住所がある方	210円	6,290円
尾道市外の方	310円	10,480円

④ 利用にあたって

- 持参物：屋内シューズ・水分補給の飲物
- トレーニング機器の使い方は、お気軽にスタッフに声をかけてください



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、利用人数の制限(1人1時間/室内10人)、更衣室・シャワー室の使用を中止しています。また、休館する場合があります。

●問い合わせ先 みつぎいきいきセンター TEL 0848-76-3536

職員の紹介

入職して一年が経ちました。初めは分からないことが多く、病棟の雰囲気になれていくのに精一杯でした。実地指導者や先輩、医師から温かく指導をしていただき、一人でできる



看護師
谷川 みく

ことも増え、日々学びを深めながら働くことができ嬉しく思っています。しかし、それと同時に患者さまの状態の変化を見逃さないように観察していくことの責任、緊張、不安も常にあります。

現在、新型コロナウイルスによる面会制限があり、患者さまやご家族の不安も大きいと思います。患者さまだけでなく、ご家族の気持ちにも寄り添いながら安心して療養していただけるよう全力を尽くしたいと思います。

理学療法士として入職し3年目を迎え、現在は回復期リハビリテーション病棟に勤務しています。



理学療法士
藤本 光理

学生時代から興味を持っていた回復期病棟での退院支援に1年目から携わることができ、少しずつ専門職としての考え方が身についたように思います。現在は面会制限があり、ご家族と患者さまがお互いの意思を伝えるににくい状況であるため、患者さまの希望を丁寧にお伺いすることを心掛けています。希望する生活に向けてどのようなリハビリを行っていくべきか、先輩方に助言をいただきながら取り組んでいます。

今後も、多くの選択肢の中から患者さまやご家族にとって、より良いリハビリができるよう学びを深めてまいります。よろしくお願いいたします。

入職して2年目となります。現在は介護福祉士として、介護老人保健施設「みつぎの苑」認知症棟に勤務しています。



介護福祉士
井上 紗希

初めは分からない事が多く、不安もありましたが、先輩方が丁寧に教えて下さり、学んだことが自信につながっています。利用者さま一人一人の思いは違うため、個々に合ったケアの重要性、コミュニケーションの大切さや難しさ、また自身の未熟さを痛感した一年でした。今後も経験を重ね、利用者さまの思いに寄り添ったケアができるように頑張ります。今後ともよろしくお願いいたします。

臨床検査技師として入職し3年目になりました。現在は検体検査部門の細菌・生化学を担当しています。



臨床検査技師
岡田 海斗

初めは検査機器の操作や検体の取り扱いなど覚えることが多く不安もありましたが、先輩方の指導のおかげで少しずつですが自信をもって業務に従事できるようになりました。

まだまだ未熟ではありますが専門知識・技術の習得に努め、臨床の現場に迅速かつ正確な検査結果を提供できるよう頑張っていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

医師異動のお知らせ

新任医師



内科医師
あか き ち なつ
赤 木 千 夏

内科医として赴任しました赤木と申します。
地域の皆さまにお役に立てるように日々診療させて
いただきたいと思います。
よろしくお願いします。



内科医師
すみ もと なつ こ
住 本 夏 子

この度赴任してまいりました住本夏子と申します。
広島大学病院と東広島医療センターで初期臨床研
修を終えました。これからは内科医として気持ちを新
たに精進してまいりますので、何卒よろしくお願いいた
します。



内科医師
く ぼ る な
久 保 瑠 那

研修医での充実した2年間に加え、3カ月という短い
期間ではありますが、公立みつぎ総合病院で働けること
を嬉しく思います。まだまだ迷惑ばかりおかけしてしま
うかもしれませんが、少しでも皆さまのお役に立てる
ように精進してまいりますので、改めてよろしくお願い
いたします。

研修医



●医科研修医
た なか
田中 なつみ

退任医師

●内科部長
よし だ たかし
吉 田 敬

●内科医長
なか お さと し
中 尾 聡 志

●内科医師
わき もと あさひ
脇 本 旭

●内科医師
さこ ゆ き こ
迫 友 紀 子

●外科医師
はら だ たく み
原 田 拓 光

●医科研修医
く ぼ こう すけ
久 保 浩 介

●医科研修医
き そ さ や か
木 曽 紗 也 香

●医科研修医
きし あや か
岸 彩 夏

基 本 理 念

地域包括ケアの実践と地域包括ケアシステムの構築
及び住民のための病院づくり

公立みつぎ総合病院科別診療割表

令和4年4月1日改定

TEL: 0848-76-1111

科 別 / 曜 日		月	火	水	木	金	備 考
午前	内 科	一 診	渡辺 章文	山本 涼太郎 (第2・第4)	渡辺 章文	山本 涼太郎	渡辺 章文
		二 診	住本 夏子	住本 夏子	住本 夏子	久保 瑠那	久保 瑠那
		三 診	佐々木 俊雄	佐々木 俊雄	(循環器内科) 広島大学	赤木 千夏	佐々木 俊雄
		四 診	奥本 賢	赤木 千夏	(脳神経内科) 広島大学	(腎臓内科) 奥本 賢	赤木 千夏
		五 診	久保 瑠那		山本 涼太郎		
	検 査	透 視	担当医	担当医	菅原 由至	担当医	
		内視鏡・ エコー	山本 涼太郎 広島大学	広島大学 川崎 医大 第1・第3・第5 山本 涼太郎 (第1・第3・第5)	広島大学 (第2・第4) 川崎 医大 (第1・第3・第5) 広島大学	広島大学 松原 賢治 佐々木 俊雄	川崎 医大 山本 涼太郎
	循環器内科		佐々木 俊雄	佐々木 俊雄			佐々木 俊雄
	小 児 科		上村 直哉	上村 直哉	上村 直哉	上村 直哉	上村 直哉
	外 科		河合 昭昌	菅原 由至	松本 英男	松本 英男	菅原 由至
	栄養サポート・ステーション		平井 敏弘				
	(リウマチ科)	一 診	林 拓男	茂木 定之	林 拓男	石井 良昌	茂木 定之
		二 診	坪河 太	広島大学	石井 良昌	広島大学	坪河 太
	脳神経外科		松岡 隆	広島大学	西村 修平	松岡 隆	西村 修平
	産 婦 人 科		木花 敏雅	木花 敏雅	木花 敏雅	木花 敏雅	木花 敏雅 羽間 夕紀子 (第2・第4)
	泌 尿 器 科		上田 光孝	上田 光孝	上田 光孝	上田 光孝	上田 光孝
	眼 科			廣岡 一行	水上 皆		穴道 紘一郎
	耳鼻いんこう科		広島大学	広島大学	広島大学	広島大学	広島大学
	精 神 科		杉 利秀	杉 利秀	杉 利秀	杉 利秀	杉 利秀
	皮 膚 科		大原 直樹	大原 直樹	大原 直樹	大原 直樹	大原 直樹
	リハビリテーション科		林 拓男	松岡 見咲	西田 康朗	石井 良昌	坪河 太
午後	歯 科		占部 秀徳 日浅 恭 手島 涉	占部 秀徳 日浅 恭 手島 涉	占部 秀徳 日浅 恭 手島 涉	占部 秀徳 日浅 恭 手島 涉	占部 秀徳 日浅 恭 手島 涉
	緩和ケア外来				松本 英男		毎週14:00~16:00 (要予約)
	禁煙外来			担当医			毎週14:00~16:00 (要予約)
	よろず相談外来					春間 賢	毎週13:00~16:00 (要予約)
	循環器内科	心カテ			佐々木 俊雄 広島大学		
	小 児 科 (予防接種)		上村 直哉 14:00~15:00 (受付)		上村 直哉 14:00~15:00 (受付)		(要予約)
	外 科		手 術		手 術	手 術	第1水曜13:00 ~ストーマ外来
	整 形 外 科			手 術			
	脳神経外科			手 術	手 術	手 術	広島大学 14:00~17:00 脳血管内治療専門外来 第1・第3 14:00~
	泌 尿 器 科				手 術	手 術	
	耳鼻いんこう科			子ども外来 15:00~16:30			子ども外来 15:00~16:30 補聴器外来 第1・第3 15:00~
	精 神 科		専門外来			専門外来	
	歯 科			手島 涉	手島 涉	占部 秀徳 日浅 恭 (第1・第4) 伊藤 翔太 矯正 歯科 (第2・第4)	手島 涉

(休診日) 土曜日、日曜日、祝日、12月29日~1月3日

(診療受付時間) 午前8時00分~11時30分

(診療開始時間) 午前8時30分~(但し眼科・10時00分~)

※当院は基本予約診療を行っております。

ご意見、ご感想をお聞かせください

患者さまならびに地域の皆さまと共に作成したいと考えて
おります。ご要望をお待ちしております。

TEL 0848-77-0955 FAX 0848-77-0956

E-mail: tiiki@mitsugibyouin.com

ホームページは「みつぎ病院」で検索

発行：尾道市立総合医療センター

公立みつぎ総合病院 広報誌編集委員会